

特集

BASEBALL



息を呑む剛速球、放物線を描くアーチ、華麗に舞うグラブ捌き、光と見紛う走塁…。プロ選手のプレーに酔いしれ、「自分もうまくなりたい!」と、日々どこかで白球を追いかける。今や当たり前のように身近にあるスポーツ、それが「野球」。

野球の歴史を紐解くと分かるのは、横浜の街は野球とともに歩み、時代を駆け抜けているということ。横浜の街に、野球の誇りを。

そして横浜の街は野球とともに、強く、たくましく。

① 野球が日本にやってきた!

1845年 (弘化2年) アメリカ・ニューヨーク生まれのアレクサンダー・カートライトが「ニッカーボッカールール」を作り、これが今日の野球の基礎となる規則になりました。

1872年 (明治5年) 第一大学区第一番中学(のちの開成学校、東京大学)のアメリカ人教師 ホーレス・ウィルソンが野球を生徒たちに教え、これが日本での野球の始まりと言われています。

① 横浜に野球を! 横浜公園の誕生~球場建設から野球文化の発展へ

1876年 (明治9年) 横浜公園完成。横浜に居留する外国人と日本人が共用する公園であったため、「彼我公園」とも呼ばれました。公園内には外国人用のクリケット場が設置されていました。

1878年 (明治11年) 実業家・平岡懋ひらおか すすむが日本初の野球チームとなる「新橋アスレチック倶楽部」を創設。

1896年 (明治29年) 5月23日 横浜外国人居留地運動場(現・横浜公園)で、日本初の野球の国際試合となる、第一高等学校(一高、のちの東京大学)と横浜外国人クラブ(現・横浜カントリー&アスレチッククラブ)の試合が行われ、29-4で一高が勝利しました。6月5日にリベンジマッチを行うも、32-9で再び一高が勝利すると、これが日本での野球人気に火をつけるきっかけとなりました。

1929年 (昭和4年) 関東大震災復興事業の目玉として、「横浜公園球場」が竣工。最大9,000人収容可能、スタンド下には体育館や講堂、柔剣道場が設けられるなど、野球のみならず横浜のスポーツ文化の発信地となりました。

1934年 (昭和9年) アメリカ・メジャーリーグオールスターチームが来日。ペーブ・ルース、ルー・ゲーリッグらスーパースター軍団と、沢村栄治、ヴィクトル・スタルヒンらを擁する全日本チームが全国各地で対戦。横浜では11月18日に横浜公園球場で対戦し、21-4でメジャーリーグオールスターチームが勝利しました。この年の日米野球をきっかけとして、12月に日本初の職業野球チームである「大日本東京野球倶楽部(後の読売ジャイアンツ)」が結成されることとなりました。



● 豆知識 ●

「ベースボール」を「野球」と訳したのは、ちゅうま かのえ 中馬 庚。1894年(明治27年)のことでした。明治草創時代の学生野球の育ての親といわれ、1970年(昭和45年)に野球殿堂入りしました。



横浜公園球場スタンド(横浜スポーツ百年の歩みより)

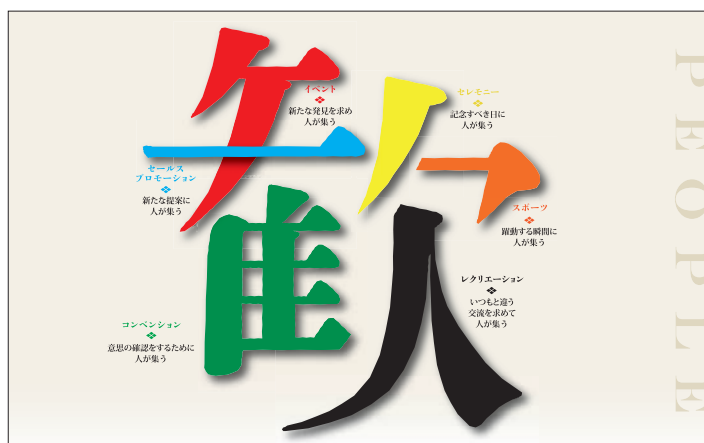


来日時のベーブ・ルース
(写真提供: (株)横浜スタジアム)



当時のメジャーリーグスーパースターがこの場所で試合を行った記念として、横浜スタジアムのライトポール下にゲーリック(左)、レフトポール下にルース(右)のメモリアルレリーフが掲げられ、今も横浜の野球を温かく見守っています。

取材協力・写真提供●株式会社横浜スタジアム 写真提供●横浜市史資料室 出典●横浜スポーツ百年の歩み 取材・文●関 英明(公益財団法人横浜市体育協会)



“遊びが集まる場所”に、いつも。

人と人が集うとき、遊びと笑顔が生まれるとき…
いつもそばにいるのが、私たちセレスポです。
人と人をつなぎ、あらゆるコミュニケーションを支える
イベント・ソリューション・パートナーとして
感動、驚きをカタチにしています。

セレスポ

www.cerespo.co.jp

JAAF
セレスポは日本陸上競技連盟の
オフィシャルスポンサーです。

横浜の夜空に、希望の“灯”がともる



日本プロ野球初のナイター(写真提供: 株式会社横浜スタジアム)



横浜公園平和野球場全景※

横浜公園平和野球場スコアボード※

日本プロ野球初のナイトゲーム開催 ～平和球場への改修



昭和20年、終戦により横浜公園球場は駐留軍に接收され、「横浜ゲーリック球場」と命名されました。接收中に日本初の夜間照明塔が整備され、初のナイトゲームとなる立教大学対慶応大学の試合が昭和23年6月14日に行われました。続く8月17日、日本プロ野球初のナイトゲーム、読売ジャイアンツ対中部日本ドラゴンズ(中日)が行われました。

その後駐留軍の接收が解除され、球場が横浜市に返還されると、整備・改修され名称も「横浜公園平和野球場」となりました。高校野球や社会人野球などの大会が数多く開催され、横浜のみならず神奈川の野球文化発展に貢献しました。

横浜にプロ野球を! 横浜スタジアム完成



子供にプロ野球を見せてやりたい。
だから横浜に球場を作ろう。(飛鳥田 一雄)

横浜公園平和野球場は、完成から半世紀が経過し老朽化が進みました。そこで昭和44年から47年にかけて、横浜野球協会会長・山口久像氏(後に横浜スタジアム社長へ就任)らによる新球場建設の精力的な署名活動が実り、横浜市は新球場建設を決定。当時の飛鳥田一雄・横浜市長は、素朴で、しかし誰よりも熱い気持ちをもって取り組み、関係者や市民とともに幾多のハードルを越え、昭和53年に横浜スタジアムが完成しました。

時を同じくして、隣町・川崎を本拠地にしていた大洋ホエールズが横浜へ移転。チーム名も「横浜大洋ホエールズ」として新たなスタートを切ることになりました。

4月4日、新球場のこけら落としは横浜大洋ホエールズ対読売ジャイアンツ。ホエールズのエース・斉藤明雄投手の力投により新球場初戦を4-1で勝利。詰めかけた3万人のファンは横浜に本拠地を構えたプロ野球チームのプレーに歓喜しました。



山口久像氏銅像



飛鳥田前市長(昭和53年当時)による始球式※



建設中の横浜スタジアム※



こけら落としのスコアボード※

※横浜市史資料室所蔵資料

コカ・コーラ・イーストジャパン株式会社
Coca-Cola EAST JAPAN CO., LTD. (コカ・コーラ株式会社)
<http://www.ccej.co.jp>
Coca-Colaは The Coca-Cola Company の登録商標です。

[オープンから**37**年。今なお進化を続ける]

横浜スタジアムへ行こう!



● 横浜スタジアムで野球を観よう!

- 第97回全国高等学校野球選手権神奈川県大会 ~7月28日(火)
 - 第32回全日本少年軟式野球大会 8月10日(月)~13日(木)
- ※横浜DeNAベイスターズの試合日程はP8-9「横浜熱闘倶楽部」コーナーに掲載しています。



憧れのスタジアムで野球をしよう! 横浜スタジアム一般利用

プロ選手と同じマウンド、バッターボックスで野球をすれば、いつもより力がみなぎってくるかも!?仲間内の交流だけでなく各種大会の開催、キックベースやソフトボールなどでも利用することができます。夢は見るものではなく叶えるもの。憧れのスタジアムで楽しいひとときを体験してみましょう!



スタジアムの裏側をのぞいてみよう! ハマスタ・ツアー

いつもはスタンドで応援しているスタジアム、その謎と神秘に包まれた裏側をめいっぱい体感できるのが「ハマスタ・ツアー」。グラウンドやブルペンなど普段は立ち入れない場所の見学はもちろん、リリーフカーでの記念撮影などイベントが盛りだくさん!あなただけの「ダグアウトの向こう」をぜひ体感してみてください!

詳細 横浜スタジアム公式ホームページ URL <http://www.yokohama-stadium.co.jp/>



ICI 石井スポーツ 横浜店

石井スポーツは創業51年の山とスキーの専門店です。
初心者さんからベテランさんまで、しっかりサポートいたします。

- ◆ 毎月登山学校を開催(講師・下越田功ガイド。机上と実技)
- ◆ 毎月ノルディックウォーキング講習を開催(店舗に講師が常駐。レンタルポールあり)
- ◆ 通年スキー用品の取り扱い。修理・加工・チューンナップを受付中。

〒231-0021 神奈川県横浜市中区日本大通7番地 日本大通7ビル1F

営業時間 平日 10:30~20:00
日祝 10:30~19:00

定休日 不定休

TEL:045-651-3681 FAX:045-651-3682
E-mail:yokohama@ici-sports.com

